

INDEX

- ・特集に寄せて 船戸 正久1P
- ・特集に寄せて 川端 秀彦1P
- ・コロナ禍が明けて、わがば病棟での取り組み2P
- ・ゆうなぎ園 遠足に行ってきました!2p
- ・生活行為向上マネジメント (MTDLP) 研修について...3P
- ・OJT研修を振り返って.....3P
- ・リレーエッセイ3P
- ・イベントピック4P
- ・寄付金と寄付物品4P
- ・職員研修実施状況4P

大阪発達総合療育センター機関紙
第53号 2024年 夏

■特集に寄せて

社会福祉法人 愛徳福祉会 理事長

船戸 正久



先週から当センターの駐車場で鳴く蝉の声が非常に大きくなり、今日から梅雨明け宣言が出ました。いよいよ夏本番ですが、日々35℃を越える猛暑が続き熱中症アラートが出る日も多くなっています。暑い中当センターに通院していただく利用者の方々、ご家族の方々に心から感謝いたします。くれぐれも水分を取り熱中症に注意していただきたいと願います。

今回は、コロナ禍明けの本園わかば棟、分園ゆうなぎ園の活動紹介と人材育成の一端の紹介です。一つは、多職種が協力して利用者の方々の生活行為向上マネジメントについて学び合う研修です。もう一つは、より緊密な多職種協働のために他の職種の仕事を体験し理解するための実務研修の紹介です。それらの地味な職員研修が、良いコミュニケーションと日常生活支援に繋がっていることをご理解いただけましたら幸いです。リレーエッセイにあるように体力訓練に励んでいる職員の姿にも大変元気をもらいます。

■特集に寄せて

南大阪小児リハビリテーション病院 院長

川端 秀彦



盛夏の兆しが日々色濃くなる中、「昔はここまで暑くなかったのでは」という思いが頭をよぎります。これは私だけの感覚でしょうか。本号の特集では、人材育成の要となる生活行為向上マネジメント (MTDLP) 研修とOJT研修について報告しています。これらの研修は、多職種連携の重要性を体感し、利用者様の潜在能力を引き出す視点を養う貴重な機会となっています。これらの研修を通じた自己研鑽が、当センターの人的資産の充実に寄与することを期待しています。また、わかば病棟での新たな取り組みに関する記事からは、リハビリテーションに励む子どもたちの素敵な笑顔が目に見えます。ゆうなぎ園の遠足報告では、日常を取り戻した喜びが、簡潔な文章と心あたたまる写真によって見事に表現されています。ぜひご覧いただければ幸いです。

自然環境や社会環境の変化に伴い、私たちも適応と進化を求められています。変化は挑戦の機会でもあります。私たちはこの変化に柔軟に対応しながら、より質の高いケアと支援を提供し続けていきたいと思ひます。皆様におかれましては、健康に留意されつつ日々の業務に励んでいただければ幸いです。



コロナ禍が明けて、わかば病棟での取り組み

看護部 わかば病棟 師長 土井 知栄子

こんにちは！わかば病棟です。今回は、わかば病棟での新たな行事の取り組みを紹介します。それは、アロマ体験と花育です。特にアロマ体験はコロナ禍では出来なかった外部講師をお招きし、子どもと家族にも体験してもらいました。花育はわかば病棟のスタッフが講師となり実施しました。花の種類も豊富で、見たことのない珍しい花も多数ありました。どの花もいい匂いでした。

どちらの取り組みも普段では体験できない異空間を提供することができ、子どもや家族、スタッフにも大好評でした。今後も定期的に継続していきたい取り組みです。

アロマ体験

看護部 わかば病棟 平原 珠美

アロマブースでは、2つの新しい体験ができました。①子ども自身が好きな精油を選択し、アロマセラピストによるマッサージ体験 ②選択した精油とワセリンでアロマクリームを作製することで、心地よい精油の匂いとマッサージの相乗効果で副交感神経が優位となり、筋緊張の緩和、呼吸の安定など良い効果が見



られました。また、子どもと家族がともにリラックスし、普段見れない子どもたちの反応が垣間見れて、素敵な時間を過ごせました。



花育

フラワーセラピスト(学習指導員) 岸田 周子

「花育」わかばでの開催が長年の望みでしたが、十数年の歳月が過ぎ、やっと実現しました。

子どもの心を豊かに、感性を育むフラワーセラピー花育。花で自分を表現、うまくより「好きな花」「好きな色」が大切です。

今の気持ちを自分自身の心を素直に受けとめる、お花の色・形・香・感触から刺激をもらい、優しさと、集中力を養う。また、同時に心も癒してくれます。花も生きもの、その花の命から数々のことを学び、感謝する心も育むそれが花育です。



ゆうなぎ園 遠足に行ってきました！

ゆうなぎ園 園長 西野 紀子

5月11日（土）東大阪市の花園中央公園へ春の遠足に行ってきました。青空のもと子ども達は大型遊具でおもいきり遊び、保護者はパパ会・ママ会に分かれて交流も深めることができました。最後に全員参加でのロンドン橋あそびは、大いに盛り上がり、とても楽しい一日を過ごすことができました。



また、5月20日（月）には、木下大サーカスより招待があり5歳児グループの子ども達と鑑賞に行ってきました。可愛い動物たちの芸や不思議な人体マジック、大迫力の空中ブランコに子どもたちの目はくぎ付け。その体験を絵に描いて、「怖くて楽しくて怖くて楽しかった」と感想をお話してくれました。これからも、行事を通して子どもたちに色々な経験をしてもらえたらと思います。



生活行為向上マネジメント (MTDLP) 研修について

リハビリテーション部 科長 須貝 京子

4月新入職員研修「生活行為向上マネジメント研修」とは、仮想利用者様の情報を基に多職種メンバーで相談して[※]合意目標を立案してもらうワークショップ形式の研修です。

現場で担当を持った際、多職種連携して決定する共通目標の立て方を模擬的に実践してもらうことが目的です。MTDLPというツールを活用することで、仮目標の立案、利用者様の生活行為を妨げている要因（弱み）と現状能力（強み）、予後予測（上達しそうな点）をそれぞれ心身機能・構造、活動と参加、環境因子に分けてアセスメントしていきます。この時、シート項目に当てはまる情報をそれぞれの専門的視点で意見を出し合うことで、多職種で取り組むべき合意目標を立てていきます。どう考えればいいかわからないことも、MTDLPシートを埋めるように情報整理していくと利用者様の様子が分かりやすくなってきます。特に、現状能力（強み）を見つけ出す考え方は、センター利用者様の潜在的能力を引き出す支援につながると考えています。そして、この同期で職種を越えて相談する経験が、その後の業務において気軽に声をかけ合い、相談できる第一歩となっていきたいと思っています。

※わかば病棟でしたら「入院目標」、フェニックス病棟でしたら「共通目標」を立てるとイメージしていただけると分かりやすいと思います。

OJT研修を振り返って

療育部 部長 井ノ上 智世

2018年から、職員研修の1つとして[※]OJT研修を実施しています。4月に新入職のリハビリスタッフは、病棟や通園で看護療育スタッフに付いて利用児者さんの生活支援、活動・保育・食事・コミュニケーションなどを実際に体験し、その方に必要な健康管理や医療的ケアを見学します。また2021年からは、看護療育スタッフがセラピストに付いて利用児者さんのリハビリや姿勢設定などを見学、体験しています。

研修では、利用児者さんの生活に寄り添いながら一日の過ごし方、大切な事や興味がある事、また色々な職種が合わさって支援している実際を知る事ができます。自分の専門分野以外へも視野を広げつつ、多職種との連携や協働の大切さを学べるとても意義ある研修だと感じています。

当院は、保健・医療・福祉の多職種が1つのチームとして協働する事で、利用児者さんのできる事や楽しみを増やし、より充実した健やかな生活を目指して支援しています。そこへ向かう始めの一步であるOJT研修が学び多い研修となるようこれからも創意工夫を続けます。

※OJT研修とは、On The Job Training(オンザ・ジョブ・トレーニング)の略、実際の現場で支援に関わりながら知識や技術を学習する事



療育部 フェニックス3階病棟 松見 良平

こんにちは。この度、筋トレ仲間の松下さんからバトンを引き継ぎました。簡単に自己紹介しますと、入職は丁度フェニックス4階の開設と同時に入職したので18年の月日が経ちました。プライベートでは、結婚し家族も増え子ども達も小・中学生となり子育て真っ只中です。

さて今回は仕事柄、体力が必要ですので体作りも兼ねて行っているトレーニングについて紹介します。プランシェ（体操選手が床でしている上水平）という技を聞いたことはありますか？この技は一見地味なんですけど、やってみると全くできないんです。この難しさと奥深さが癖になり、習得に向け、家で自重、ジムでは器具を使用した筋トレに励んでいます。何か意識しないと衰えていきますので、ちょうど良い運動になっています。



イベントピックアップ

ふたばサマーフェスティバル

8月11日（日）サマーフェスティバルを開催しました。今年のサマーフェスティバルではキッチンカーやフラダンスなどが来て、たくさんの催しをご家族で楽しんでいました。



感謝

大阪発達総合療育センターへの御理解・御協力誠にありがとうございます

一般寄付金

月	寄付者（敬称略）	(R6.4 ~ R6.6)
4月	ナニワ6フォーラムネット理事 植村和弘	分 園
	楽基金 1件	本 園
	大牟礼志保	本 園
5月	紀伊克昌	本 園
	楽基金 2件	本 園
6月	楽基金 3件	本 園

寄付物品

	寄付者（敬称略）	物品名	(R6.1 ~ R6.6)
4月	匿名	おもちゃ、電池	本園
	匿名	絵本、おもちゃ	本園
	匿名	アンパンマン絵本	本園
	匿名	おもちゃ	本園
	五十川旺利	服	本園
	大牟礼志保	吸引器2台、吸入器1台、オムツ1パック、尿とりパッド大6パック、中13パック	本園
〃	〃		本園
5月	山田 昌次	兜	本園
	西條 恭子	エプロン、ゴム手袋、オムツ	本園
6月	匿名	おもちゃ	本園
	林 清乃	かぶとむし	本園



職員研修実施状況

令和6年4月～6月

当センターでは、質の高いチーム医療の提供をめざして、様々な職員研修を行い、技術の向上と知識の蓄積を図っております。

実施日時	企画部署	研修名	講師	参加人数	場所
令和6年4月 1日(月)・2日(火)・3日(水) 9:00～17:30	教育研修部	令和6年度新入職員研修 (兼令和5年度中途採用者研修)	理事長 船戸正久他	30名	5階ホール
令和6年5月14日(火) 17:40～18:40	教育研修部	「災害時の食事提供について」	看護部 摂食嚥下障害看護認定看護師 宮下千紘	77名	5階ホール他
令和6年6月12日(水) 17:40～18:40	教育研修部	「身体づくり研修」	リハビリテーション部 部長 佐藤邦洋 科長 須貝京子、主任 河中真由美	50名	5階ホール他
令和6年6月25日(火) 17:40～18:40	感染管理委員会 教育研修部	感染管理対策研修 「標準予防策について」	看護部 主任 感染管理認定看護師 小崎聖子	88名	5階ホール他



大阪発達総合療育センター

URL : <http://osaka-drc.jp>

発行者・社会福祉法人 愛徳福祉会
発行責任者・船戸正久

南大阪小児リハビリテーション病院(保険医療機関)
フェニックス(医療型障がい児入所施設・療養介護事業・短期入所事業)
主として重症心身障がい児者
わかば(医療型障がい児入所施設・短期入所事業)主として肢体不自由児
ふたば(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業)主として肢体不自由児
いぶき(特定相談支援事業・障がい児相談支援事業)
なでしこ(生活介護事業・児童発達支援事業)
〒546-0035 東住吉区山坂5-11-21
TEL:06-6699-8731 FAX:06-6699-8134
訪問看護ステーション めぐみ(指定訪問看護事業)
TEL:06-6699-8855 FAX:06-6699-8856
ヘルパーステーション めぐみ(指定訪問介護事業)
TEL:06-7506-9223 FAX:06-6699-8856
〒546-0035 東住吉区山坂5-9-16

大阪発達総合療育センター あさしお診療所(保険医療機関)
あさしお園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として肢体不自由児
ゆうなぎ園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として難聴児
〒552-0004 港区夕凪2-5-3
TEL:06-6574-2521 FAX:06-6574-2524
きらり(共同生活援助事業・短期入所事業)
TEL:06-7501-0328 FAX:06-7501-0330
ひなた(生活介護事業)
TEL:06-7501-0319 FAX:06-7501-0330
みらい(放課後等デイサービス事業)
TEL:06-7501-0282 FAX:06-7504-0212
〒546-0035 東住吉区山坂5-12-5